



2024年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月12日

上場会社名 株式会社歌舞伎座 上場取引所 東
コード番号 9661 URL <https://www.kabuki-za.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安孫子 正
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岡谷 直人 (TEL) 03-3541-5572
四半期報告書提出予定日 2023年7月13日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第1四半期の連結業績(2023年3月1日~2023年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第1四半期	749	21.2	32	-	49	-	29	-
2023年2月期第1四半期	618	-	△24	-	△21	-	△35	-

(注) 包括利益 2024年2月期第1四半期 297百万円(△40.4%) 2023年2月期第1四半期 499百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第1四半期	2.42	-
2023年2月期第1四半期	△2.96	-

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2023年2月期第1四半期については対前年同四半期増減率を記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第1四半期	24,646	10,862	44.1
2023年2月期	24,256	10,624	43.8

(参考) 自己資本 2024年2月期第1四半期 10,862百万円 2023年2月期 10,624百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	-	0.00	-	5.00	5.00
2024年2月期	-	-	-	-	-
2024年2月期(予想)	-	0.00	-	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日~2024年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,503	20.9	91	-	111	-	78	-	6.50
通期	3,043	12.6	180	-	202	-	137	-	11.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 -社、除外 -社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年2月期1Q	12,170,000株	2023年2月期	12,170,000株
2024年2月期1Q	50,199株	2023年2月期	50,199株
2024年2月期1Q	12,119,801株	2023年2月期1Q	12,119,913株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(表示方法の変更)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境は持ち直しているものの、企業収益の改善のテンポは緩やかであり、物価上昇等の影響に注意する必要があるなど、景気は先行きが不透明な状況で推移いたしました。

このような情勢のもと、当社グループは今まで以上に一体感をもって経営改善にあたり、各事業において業績の向上に努めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は749,481千円(前年同四半期比21.2%増)となり、営業利益は32,204千円(前年同四半期は営業損失24,070千円)、経常利益は49,455千円(前年同四半期は経常損失21,536千円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は29,295千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失35,853千円)となりました。

これをセグメント別にみると、不動産賃貸事業については、売上高は469,190千円(前年同四半期比1.3%増)、セグメント利益は180,904千円(前年同四半期比5.8%増)となりました。

食堂・飲食事業については、演目に因んだ食事等メニューに工夫を凝らしました。その結果、売上高は137,221千円(前年同四半期比106.7%増)となり、セグメント損失は15,561千円(前年同四半期はセグメント損失31,498千円)となりました。

売店事業については、売上高は143,069千円(前年同四半期比61.5%増)となり、セグメント利益は7,237千円(前年同四半期はセグメント損失21,049千円)となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より、不動産賃貸事業において主に顧客対応に従事している部門の人件費等について表示方法の変更を行っております。経営成績に関する説明における前第1四半期連結累計期間との比較は、当該変更を反映した組替え後の数値で行っております。詳細につきましては、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (表示方法の変更)」をご参照ください。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ389,638千円増加し24,646,498千円となりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ123,391千円増加し1,757,136千円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ266,246千円増加し22,889,361千円となりました。主な要因は、投資有価証券の時価評価による増加387,110千円及び有形固定資産の減価償却等による減少108,986千円であります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ107,834千円増加し879,865千円となりました。主な要因は、未払金の増加及び買掛金の増加であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ44,529千円増加し12,904,576千円となりました。主な要因は、投資有価証券の時価評価したこと等による繰延税金負債の増加及び流動負債への振替による長期前受金の減少であります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ237,274千円増加し10,862,055千円となりました。主な要因は、投資有価証券の時価評価したことによるその他有価証券評価差額金の増加であります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.3%上昇し44.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年4月13日に発表した業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,507,023	1,598,920
売掛金	38,907	57,268
棚卸資産	29,578	40,420
その他	58,235	60,527
流動資産合計	1,633,745	1,757,136
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,746,534	7,640,609
土地	6,211,109	6,211,109
その他(純額)	77,719	74,656
有形固定資産合計	14,035,362	13,926,375
無形固定資産		
借地権	2,613,299	2,613,299
施設利用権	5,368	5,096
ソフトウェア	16,069	14,826
無形固定資産合計	2,634,737	2,633,221
投資その他の資産		
投資有価証券	5,469,254	5,856,364
長期前払費用	396,371	392,463
その他	87,388	80,934
投資その他の資産合計	5,953,014	6,329,763
固定資産合計	22,623,114	22,889,361
資産合計	24,256,859	24,646,498

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	115,156	149,963
未払金	97,461	177,447
未払法人税等	71,206	23,505
前受金	399,945	418,230
賞与引当金	18,228	24,184
その他	70,033	86,535
流動負債合計	772,031	879,865
固定負債		
長期未払金	98,490	98,490
長期前受金	11,443,161	11,369,958
繰延税金負債	1,149,883	1,270,421
退職給付に係る負債	82,690	85,187
長期預り保証金	85,821	80,518
固定負債合計	12,860,046	12,904,576
負債合計	13,632,078	13,784,442
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,365,180	2,365,180
資本剰余金	3,264,975	3,264,975
利益剰余金	3,548,045	3,516,742
自己株式	△222,650	△222,650
株主資本合計	8,955,550	8,924,246
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,669,231	1,937,809
その他の包括利益累計額合計	1,669,231	1,937,809
純資産合計	10,624,781	10,862,055
負債純資産合計	24,256,859	24,646,498

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年3月1日 至2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年5月31日)
売上高	618,186	749,481
売上原価	490,918	568,045
売上総利益	127,268	181,435
販売費及び一般管理費		
人件費	90,269	87,037
賞与引当金繰入額	5,551	5,109
退職給付費用	1,916	1,794
租税公課	7,389	7,934
減価償却費	771	787
その他	45,440	46,568
販売費及び一般管理費合計	151,339	149,231
営業利益又は営業損失(△)	△24,070	32,204
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	-	14,652
助成金収入	1,005	420
その他	1,853	2,367
営業外収益合計	2,860	17,440
営業外費用		
その他	326	189
営業外費用合計	326	189
経常利益又は経常損失(△)	△21,536	49,455
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△21,536	49,455
法人税、住民税及び事業税	14,210	18,153
法人税等調整額	105	2,006
法人税等合計	14,316	20,160
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△35,853	29,295
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△35,853	29,295

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年3月1日 至2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△35,853	29,295
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	535,287	268,578
その他の包括利益合計	535,287	268,578
四半期包括利益	499,433	297,873
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	499,433	297,873

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書関係)

従来、不動産賃貸事業において主に顧客対応に従事している部門の人件費は「売上原価」に表示しておりましたが、当社グループの事業活動の実態をより適切に表示するため、当第1四半期連結会計期間より「販売費及び一般管理費」に含めて表示する方法に変更しております。この結果、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において「売上原価」に含めておりました「人件費」6,216千円は、「販売費及び一般管理費」の「人件費」、「賞与引当金繰入額」、「退職給付費用」、「その他」に組替えております。

また、本社事務所に係る諸経費を建物全体に占める事務所の面積比率を用いて「販売費及び一般管理費」に表示しておりましたが、重要性に乏しいため、当第1四半期連結会計期間より「売上原価」に含めて表示する方法に変更しております。この結果、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において「販売費及び一般管理費」の「租税公課」、「減価償却費」、「その他」に含めておりました本社事務所に係る経費1,442千円は、「売上原価」に組替えております。

なお、セグメント情報に与える影響については、(セグメント情報等)に記載しております。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び連結子会社は、当第1四半期連結会計期間より、単体納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日)に従っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(表示方法の変更)に記載のとおり、不動産賃貸事業において主に顧客対応に従事している部門の件費は不動産賃貸事業の「売上原価」に表示しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、全社費用である「販売費及び一般管理費」に含めて表示する方法に変更しております。また、本社事務所に係る諸経費を建物全体に占める事務所の面積比率を用いて「販売費及び一般管理費」に表示しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「売上原価」に含めて表示する方法に変更しております。

この結果、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、表示方法の変更を反映させるため組替えを行っており、従来の方法に比べて、不動産賃貸事業のセグメント利益が4,773千円増加し、調整額が同額減少しております。

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年3月1日至2022年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	不動産 賃貸事業	食堂・飲食 事業	売店事業	計		
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	-	66,395	88,569	154,965	-	154,965
一定期間にわたり移転される財又はサービス	2,911	-	-	2,911	-	2,911
顧客との契約から生じる収益	2,911	66,395	88,569	157,876	-	157,876
その他の収益 (注)3	460,310	-	-	460,310	-	460,310
外部顧客への売上高	463,221	66,395	88,569	618,186	-	618,186
セグメント間の内部売上高 又は振替高	28,915	56	12	28,985	△28,985	-
計	492,137	66,452	88,582	647,172	△28,985	618,186
セグメント利益又は損失(△)	170,995	△31,498	△21,049	118,447	△142,518	△24,070

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△142,518千円は、セグメント間取引消去△4,292千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△138,225千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日)に基づく賃貸収入等であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年3月1日至2023年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	不動産 賃貸事業	食堂・飲食 事業	売店事業	計		
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	-	137,221	143,069	280,291	-	280,291
一定期間にわたり移転される財又はサービス	7,097	-	-	7,097	-	7,097
顧客との契約から生じる収益	7,097	137,221	143,069	287,389	-	287,389
その他の収益 (注)3	462,092	-	-	462,092	-	462,092
外部顧客への売上高	469,190	137,221	143,069	749,481	-	749,481
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35,711	190	49	35,951	△35,951	-
計	504,901	137,412	143,118	785,432	△35,951	749,481
セグメント利益又は損失(△)	180,904	△15,561	7,237	172,581	△140,376	32,204

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△140,376千円は、セグメント間取引消去△4,455千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△135,921千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日)に基づく賃貸収入等であります。